

(別紙様式1)

## 平成29年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 鹿児島県  
農業委員会名： 与論町農業委員会

### I 農業委員会の状況(平成29年4月1日現在)

#### 1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	723	農業就業者数	971	認定農業者	104
自給的農家数	78	女性	458	基本構想水準到達者	0
販売農家数	645	40代以下	29	認定新規就農者	0
主業農家数	224	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	3
準主業農家数	196			集落営農経営	0
副業的農家数	225			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2	1,100				1,102.00
経営耕地面積	7.62	871.17	539.60	9.69	299.36	878.79
遊休農地面積	0	0	0	0	0	0
農地台帳面積	100	1,091				1,191

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 29 年 7 月 19 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数	7	7	1	1	0	1	3	10
認定農業者	—	4	0	1	0	1	2	6
女性	—	0	0	0	0	0	0	0
40代以下	—	0	0	0	0	0	0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 2 年 7 月 1 9 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	9	9			
認定農業者	—	6			
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—	3			
40代以下	—	0			
中立委員	—	1			

農地利用最適化推進委員	9	9	9
-------------	---	---	---

\*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1, 197ha	419. 47 ha	35. 04 %
課 題	一筆ごとの耕作面積が小さく効率的に担い手に農地集積を行うためには特に高齢などにより耕作が困難と思われる農地や遊休農地など各集落における農地利用の状況に応じ農家と話し合い推進していく。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 10 ha (うち新規集積面積 10ha)
	目標設定の考え方:認定農業者の育成と担い手への集積の推進に努める。
活動計画	各種の担い手に関する研修会への参加を図り担い手が意欲を持って農業経営に取り組めるよう支援する。(9月)

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	1 経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0 ha	0. 5 ha
課 題	耕地面積が小さい中で就農者するのは親元就農者が多い。また農業従事のためUターンするのは農業後継者の一部であり新たに新規就農する者は限られている。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

参入目標数	2 経営体	参入目標面積	1. 5 ha
活動計画	担い手育成のための各種研修会への参加及び新規参入者への支援を図るため関係機関と連携した取組。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### IV 遊休農地に関する措置

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1, 197ha	0ha	0%
課 題	農地利用状況調査に基づく遊休農地の島外所有者の把握及び所有者への指導助言の徹底		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 ha		
	目標設定の考え方:農地パトロールを実施し所有者の確認を行う。		
活 動 計 画	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	18 人	8月～10月	11月～12月
	調査方法	各員が担当地区を重点的にパトロールをし、地形図、地籍図等により耕作放棄地の監視にあたる。また、年一回は委員全員と事務局で現地を確認し是正に向けて取組を図る。	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期
	8月～10月	11月～12月	
その他	随時地区の農家との情報を基に耕作放棄地の把握を行い解消に取り組む。		

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

#### V 違反転用への適正な対応

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1, 197ha	0. 67ha
課 題	島全域が農用地区内にあり転用基準が厳しい状況であり農業後継者が住宅を建設するのも厳しく、基準に合う土地を探すのも難しくやむなく自己所有の土地に建てている状況にある。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の活動計画

活動計画	農地の無断転用のないよう啓発チラシや町の広報誌による周知を図るとともに定期的な農地パトロールを実施することで違反転用の防止に努める。
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入